

12 つくも書房
つくり書房

多彩にアップサイクル「UPCYCLE中津荘」

「UPCYCLE中津荘」はアップサイクルに共感するお店や事務所が集まるアパートです。暮らしに根差したアイデアで、モノやコトに新たな価値をつくる入居者の皆さんをご紹介します。

洋服のアトリエショップ 「igria(イグリア)」

服飾デザイナー池田久美子さんのアトリエショップ。着心地のいい洋服や、着られなくなった白い服や生地を集めて仕立てたエプロンがそろいます。ブラウン色のエプロンはコーヒーの出し殻で染めたものです。セミオーダーできるものもあり、長く愛用できる一着に出会えます。



igriaのInstagram▲

私設図書室 「本の部屋 Ton ton」



本の部屋
Ton tonのInstagram▲

「本とあそぶ」を合言葉に運営、代表は安田京子さんです。地域団体から譲り受けた処分されるはずだった本や集めた絵本などが並び、自由に手にとって読んだり、借りたりできます。今後はえほんpicnicのサテライト開催や、まちライブラリーとしての展開をめざします。

量り売りの食材店 「wakka(ワッカ)」



大淀中でモロッコ料理店を営むジャズーリ陽子さんが、7月下旬にオープン予定。持参したビンや巾着などに必要な量の食材を



購入する仕組みです。お米や豆、調味料、不定期で野菜や卵などの生鮮食品も販売予定。プラスチック容器やフードロスを減らし、環境問題を考えるきっかけを作ります。

清掃担当の吉中昭子さん



中津在住50年。婦人セーターの製造卸業を営んだ後、約10年間プロの清掃員としてビルやオフィスの掃除を担当してきました。中津地域女性会副会長も務め、地域とのつなぎ役でもある心強い存在です。

連載 「私たちのSDGs」

「わがまち北区」バックナンバーはこちら▶



SDGsの基本情報(外務省)▶



国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、政治、経済、教育など様々な分野で未来を設計するキーワードとなり、大阪市で開催される大阪・関西万博(2025年日本国際博覧会)も「SDGs達成への貢献」を目標に掲げています。

連載「私たちのSDGs」は、北区でのSDGs活動を紹介し、区民一人ひとりが暮らしの中でSDGsを実践するアクションにつなげたいという願いを込めて、令和2年2月号でスタートしました。これまでに掲載した26回の一覧を改めてご紹介します。



	団体・活動名	内容など	ゴール(目標)	掲載号
1	中西金属工業株式会社(NKC)	こども食堂	8	令和2年2月号
2	大淀東地域活動協議会	資源ごみ回収	11	3月号
3	手話エンターテイメント発信団oioi	手話パフォーマンス	3	4月号
4	チャリティショップめぐりもの	(令和4年5月に閉店)	12	5月号
5	司法書士事務所ともえみ	高齢者向け法務サービス	5	6月号
6	淀川管内河川レンジャー・アドバイザー	淀川と住民を結ぶ活動	14	7月号
7	認定NPO法人グリーンボード	北新地でごみ拾い	11	8月号
8	北朗バラの会	音訳ボランティア	3	9月号
9	HUBchari	シェアサイクルで就労支援	1	10月号
10	キッズスマイルブック	小中学生が主体の読書ボランティア	4	11月号
11	TJWK関西	編み物で震災遺児支援	3	12月号
12	ワン・ワールド・フェスティバル	国際協力を知る祭典	17	令和3年2月号
13	認定NPO法人おてらおやつクラブ	お寺のお供え菓子をひとり親家庭等へ	1	3月号

	団体・活動名	内容など	ゴール(目標)	掲載号
14	Minori-O	フードロス削減めざし食料品販売	12	4月号
15	北区ガイドボランティア ヤジ馬ヤジ北	まちあるきのガイド	4	5月号
16	認定NPO法人虹色ダイバーシティ	性的マイノリティーの尊厳と権利を守る	5	6月号
17	コミュニティバブ テンチョス	「食」をテーマにした集いの場	3	8月号
18	認定NPO法人健康ラボステーション	健康づくり情報を発信	3	9月号
19	縁樹の糸	樹木布の開発・販売	15	10月号
20	NPO法人アクアキッズセーフティプロジェクト	水の事故から子どもを守る知識の普及	4	11月号
21	NPO法人ジャーダック	寄付された髪で子どもに医療用ウィッグ提供	3	12月号
22	まちライブラリー北勝堂	まちづくりの拠点となる私設図書館	11	令和4年2月号
23	大阪ドゥーラの会	赤ちゃんを失った家族に寄り添う	3	3月号
24	ハイパー縁側	中津のオフィスビルをまちに開きトーク	17	4月号
25	Love&sense	フェアトレードショップ	10	5月号
26	NPO法人子どもセンターぬつく	子どもシェルター、自立支援ホーム運営	3	6月号

Instagramの投稿募集

「私の好きな北区」「みんなに教えてあげたい北区」の写真や動画を募集しています。ハッシュタグ「#キタフレ」「#kitakufriend」をつけてInstagram(Instagram)に投稿してください。素敵な投稿を北区役所公式Instagram(@kitaku_osaka)や「わがまち北区」紙面でご紹介します。



kangeki.kangekiさん
露天神社
風の音に耳を澄ませ
朝露の中で背筋を伸ばす花の姿にほんの少しだけ、気持ちが前を向く
#お初天神 #キタフレ
#風鈴 #紫陽花
#人形 #ひとがた
#魔除け #無病息災



yosuke.amanonさん
夕焼けのグラデーション、梅田のビル、銀橋と、この景色が気に入ります。
#夕焼け空
#グラデーション
#kitakufriend
#osaka
#sunset
#nightview
#ig_nightview



みんなの感謝状

【募集期間】
2022年9月30日(金)まで

ギネス世界記録に挑戦! 10万枚の感謝状



北区役所では感謝状を持った写真を集めて、ギネス世界記録®に挑戦中! 目標は10万枚です。今回はセレッソ大阪の森島寛晃社長に、「大切な何か」への感謝の気持ちを聞きました。

ギネス世界記録に挑戦!
10万枚の感謝状専用サイト▲

株式会社セレッソ大阪 代表取締役社長 森島寛晃さん いつも応援してくださる「セレッソファミリー」の皆さんへ

サッカー選手はピッチに出ると、まずスタンドのサポーターを見て気持ちを高めます。苦しい時、諦めそうになった時、サポーターの声援が選手一人ひとりの、そしてクラブの大きな支えになります。

応援してくれる人がいるから、いつも以上の力が出せる。コロナ禍で無観客試合も経験、サポーターの力の大きさを改めて感じました。

サポーターの皆さんは選手と一緒に戦う仲間、「セレッソファミリー」です。

対戦する両チームのサポーターがつくるスタジアムの緊張感、サッカーの大きな魅力です。サッカーをまだスタジアムで観戦したことがない方には、ぜひ、現場で体験していただきたいです。中でも、ガンバ大阪と対戦する「大阪ダービー」のピリピリした空気は特別です。

皆さんの応援への感謝を、プレーでお伝えできるような試合をしていきたいと、クラブ一同、精進します。

もりしま・ひろあき

現役時代からセレッソ大阪一筋の「ミスターセレッソ」。1991年にセレッソの前身・ヤンマーディーゼル(現・ヤンマー、本社=茶屋町)サッカー部にプロ選手として入団。1998年、2002年のFIFAワールドカップに出場。2008年に引退後、アンバサダーなどを経て2018年12月から運営会社・セレッソ大阪の代表取締役社長。

